

(別添 2)

No.	2
策定年月	令和3年4月
見直し年月	—

麦・大豆産地生産性向上計画  
揖斐郡産地  
(作成主体: 有限会社サポートいび)

1. 麦・大豆の生産性向上・生産強化に向けた方針

揖斐郡は、全耕地面積(R2年 3890ha)に対して主食米の作付割合が約3割(R2年 1319ha)を占める水田地域である。

近年、主食用米の国内需要が減少する中で、将来を見据え、飼料用米等の生産拡大、野菜等高収益作物の導入等と併せて、麦・大豆の生産を拡大する必要がある。

麦・大豆の生産にあたっては、担い手として、更なる面積集積及び団地化を図り、効率的で安定した生産を行うことで生産性の高い麦・大豆産地づくりを推進していく。

また、実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組を行い、各町と協力し、給食センター等に対し、地場産活用を呼びかけ、需要の創出・拡大にも積極的に取り組む。

現在、揖斐郡においては、水田収益力強化ビジョンにより水田活用の推進に取り組んでいるが、本計画に沿って、麦・大豆生産性向上・生産拡大に係る取組をより具体化するとともに関係者の連携を強化し、農業の更なる活性化を図っていく。

## 2. 麦・大豆生産の現状と課題

### (1) 需要に応じた生産の現状と課題

- ・麦については、本地域で生産している小麦イワイノダイチは全量(R2年、200トン)が●●●●に卸されているが、実需者から求められる品質を満たしておらず、生産量及び品質の安定化を求められている。大麦のさやかぜ(R2年、218トン)についても全量が全農に卸されており、要望される品質を満たすための対策が必要である。
- ・大豆(R2年、69トン)については、全量が●●●●に卸されているが、近年、作柄の不安定さにより安定供給が達成できておらず、供給を安定させる必要がある。

### (2) 生産における現状と課題

- ・作付面積は麦・大豆ともに増加傾向で推移しているが、大豆の単収は長期的に低下傾向となっている。
- ・単収低下の原因として、悪天候による作業の遅れ等が考えられ、収量を向上・安定化させるためには、排水対策の実施が課題となっている。また、麦については、要望される品質確保が課題となっている。
- ・さらに、近年は、農地集約が進んで作業面積が拡大したことによる適期作業の逸失等も単収低下の要因と考えられる。このため、スマート農業の導入や作付の団地化等による作業の効率化が必要だが、団地化率は上昇しておらず、改善が課題となっている。

(3)実績(※丸めにより合計値が一致しない場合がある。)

① 生産量

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)
小麦	イワイノダイチ	55	51	64	227	252	312	125	127	200
大麦	さやかぜ	54	58	68	250	245	322	135	143	218
作物計※		109	109	132	238	249	317	260	271	418

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)
大豆	フクユタカ	85	87	101	90	132	68	76	114	69
作物計		85	87	101	90	132	68	76	114	69

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 計画策定時に数値が把握できる直近3年の実績を記載する。麦と大豆で年産が異なっても良い。

※ 年産は必要に応じて適宜書き換えて使用すること。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

## ② 団地化

作物名	品種名	平成30年産		令和元年産		令和2年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
小麦	イワイノダイチ	-	-	-	-	16.9	26.3%	
大麦	さやかぜ	-	-	-	-	10.6	15.6%	
作物計		-	-	-	-	27.5	20.8%	

作物名	品種名	平成30年産		令和元年産		令和2年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
大豆	フクユタカ		-		-	5.8	5.8%	
作物計		-	-	-	-	5.8	5.8%	

※ 原則田の数値を記載するが、畑を含んでいる場合は、田の数値を括弧書きで記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 団地化率は、団地化面積が当該品目の作付面積に占める割合を指す。現状数値以外は把握できる範囲の記載で良い。

※ 品種毎の記載が困難な場合は、麦全体及び大豆全体の数値のみの記載で良い。

## ③ 団地化率の計算に用いる団地の基準・考え方

岐阜県においては、「団地」は4ha以上の、同一作物が作付されており、一連の農作業に支障が生じない2筆以上の隣接する農地としており、当該地域においても同様とする。

※ 都道府県の団地基準面積値を使用している場合は、その旨記載すること。

※ 都道府県の団地基準面積値と異なる場合は、必ず記載すること。